



宿題 確かめ表

令和 2年 6 月 26 日 ~ 8 月 27 日

おうち の人の サイン		夏 休 み の 宿 題 (13)
	1	音読 今まで学習した単元 ★漢字を全て読めるようにしましょう。 ★弥亜ちゃんと賢治君は、書けるようにしましょう。
	2	音読 新しい社会6 教科書47ページまで
	3	漢字かんぺきテスト6上全て と 別冊
	4	G 今週の出来事 9枚 -○自分に起こった出来事を8枚書きます。 ○最後の週は、世の中の出来事を書きます。
	5	G 「私たちにできること」の提案書をタイプして仕上げる。
	6	G 言葉のきまり
	7	G 楡組の漢字の復習 (YouTube をみて、全ての漢字を読めて書けるようにする)
	8	8月の折り紙カレンダー作り (シカモアのサイト) 提出は7月31 日まで
	9	G 読書感想文「平和のとりでを築く」
	10	G 本のしょうかい
	11	G 絵日記 1 枚
	12	G まんが日本史 第13, 14, 15話の要約
	13	G 今週のことわざ (YouTube)
	14	今までの宿題を全て仕上げる。
	15	毎日日本語で話す時間を確保する。

榛組のみなさん

明日から夏休みが始まりますよ。

4月3日から13回。榛組の約3分の1の授業が終わりました。13回で学んだことを忘れないように、夏休み中にしっかりと復習をしてください。

この夏休みは、1週間ごとにチェックインの宿題があります。提出を忘れないようにしてください。また、Google Classroom の 6 月26日のところに全ての宿題が書いてあります。毎日計画を立てて、宿題に取り組みましょう。

8月28日に会いましょう!

榛組たんにな 池田





夏休み音読カード

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							



夏休み音読カード

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							



夏休み音読カード

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							



夏休み音読カード

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							

読んだ本の名前や 教科書のページ 読みのめあて							
	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							



夏休み音読カード

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読みのめあて	教科書 P.92~P.99 「せんねんまんねん」 「いちばん大事なものは」 「利用案内を読もう」						
	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27
① 姿勢正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
おうちの人のしるし							

ぞ	い	こ	う	れ	→					
だ	き	る	ま	ゆ	→					
む	う	じ	と	ん	→					
は	け	た	な	ば	→					
が	か	い	ん	え	→					
あ	か	さ	お	ん	→					
ぼ	ら	ん	く	さ	→					

1

ふりかえろう

めあて

○五学年の内容を、正しくおぼえたか確かめましょう。

点

1 文に合うように、 のあといの言葉を一つずつ組み

合わせて複合語にして、 に書きましょう。 一つ5点(10)

① 兄は、明日アメリカに

ので、準備をしている。

② 一回戦に勝ったが、二回戦で負けないう、

気を

あ

細い・短い
引く・若い
旅・切る

い

立つ・すわる
太い・長い
開く・しめる

2 次の漢字と同じ成り立ちの漢字を から選んで、

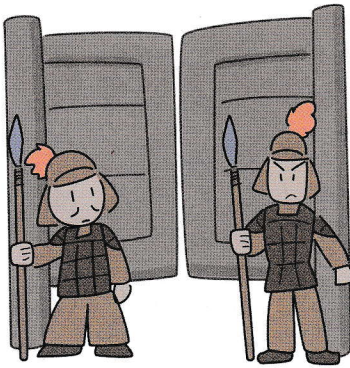
に書きましょう。

① 信

② 門

③ 草

車・末・明・際・天



一つ5点(15)

3 の言葉の中から、同じようなものを表す和語・漢

語・外来語を二組選んで、 に書きましょう。

和語

漢語

外来語

一つ5点(10)

和語

漢語

外来語

昼食・ニュース・昼ごはん・中央・重さ
センター・国旗・客船・ランチ・真ん中

4 次の文の主語に○を、述語に◎をつけましょう。

一つ5点(15)

① 姉は、おかしを 作り に 家に 帰る。

② 学校の 理科の 授業で 育てた

アサガオが 花を さかせた。

③ 晴れた 青い 空に 一羽の 白い 鳥が、

高く 飛んでいる。

5

たずねる言葉を使っている文二つに○をつけましょう。

一 つ 五 点 (10)

- () 「わたしの考えは正しいです。」
- () 「あなたのほうが悪いと思います。」
- () 「なぜ、そう思うのですか。」
- () 「何か質問はありますか。」
- () 「確かにそうですね。」

6

次の文の に合う言葉を、それぞれ で囲みましょう。

一 つ 五 点 (15)

わたしは、新一年生との交流を深める時間に、ダンスをするのがいいと思います。

- ①、いっしょに体を動かすことで、一気に心のきよりが縮まると思っています。
- ②、運動が苦手な子でも、ダンスなら楽しい時間を過ごせるのではないでしようか。
- ③、だれもが楽しめて、すぐに仲良くなれるという理由で、ダンスを提案します。

- ① つぎに
まず
- ② こうして
また
- ③ このように
いっぽう

7

尊敬語を使った文二つに、○をつけましょう。

一 つ 五 点 (10)

- () 父は昨日、出張に行きました。
- () その歌なら、わたしも歌えます。
- () おじさんから、おかしをいただきました。
- () 市長がいらつしやいました。
- () ご入学おめでとうございます。



8

の言葉をけんじよう語に直した言い方を から選んで、 () に書きましょう。

一 つ 五 点 (15)

- ① 先生に意見を聞く。
- ② 美術展で先生の絵を見る。
- ③ 議長にお願いを言う。

申し上げる・拝見する
うかがう・差し上げる

2

ものの考え方、伝え方／つないで、つないで、一つのお話
詩を楽しもう／続けてみよう／帰り道 ほか

めあて

○人物の様子や行動を表す言葉について、その使い方をおぼえ
ましょう。

点

様子や行動を表す言葉

1 おぼえましょう

◇ 様子や行動をくわしくする言葉
を使うと、表す様子がよく伝わります。

1 妹は

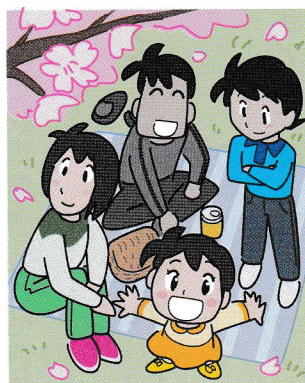
にっこり 笑う。

◇ の言葉は、
どんなふうに
笑っているの
かを表します。

とても うれしそうだ。

◇ の言葉は、
どのくらいうれ
しそうなのかを
表します。

※「そっと」「きびきびと」など、人物の様子をくわしくする言葉は、たくさんあります。他にも考えてみましょう。



2 練習しましょう

1 の言葉がくわしくしている言葉をさがして、() に記号
を書きましょう。

① 約束に間に合うように、

ア イ ウ
急いで 駅に向かう。



③ 空がくもって、たちまち

ア イ ウ
大つぶの雨が降る。



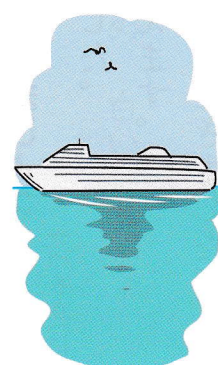
② 兄は 軽々と ハードルを

ア イ ウ
飛びこえる。



④ 大きな船が、かなり

ア イ ウ
ゆったりと海を進む。



一つ10点(40)

2 春の日差しが

ぽかぽかと あたたかい。

3 公園は

ずいぶん にぎやかだ。

◆ 2・3 の

言葉は、どのように
あたたかいのか、ど
のくらいにぎやかな
かを表します。

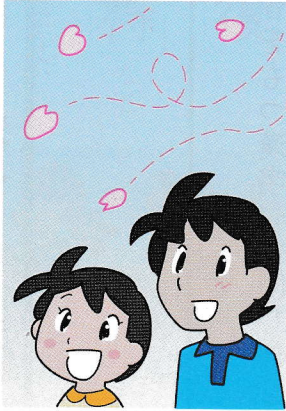
4 桜の花びらが

まるでちようちようみたいに

まい落ちている。

◆ 「まるで」みた

いに(ように)の
たとえる言い方も、
人物や場面の様子
を表す言葉をくわ
しくします。



2 文に合うほうの言葉に、○をつけましょう。

一つ10点(40)

① 祖父はとても

おだやかに
あざやかに
話す。

② ランプの明かりが

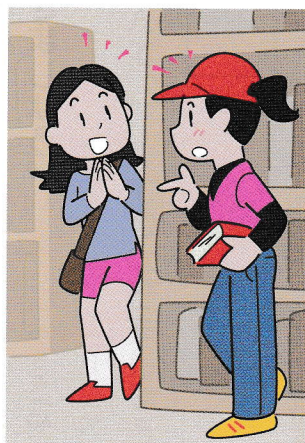
ぼんやりと
きりきりと
辺りを照らす。

③ 宿題が終わらなくて

さっぱり
たいへん
苦労している。

④ 初めて行った店で、友達と

ますます
ばったり
会った。



3 上の4の文を参考にして、「まるで」みたいに(ように)…。
の形の文を作りましょう。

(20)

3

漢字の形と音・意味／春のいぶき
聞いて、考えを深めよう／漢字の広場

めあて

○同じ部分で同じ音の漢字を、正しく使い分けられるようになりましょう。また、部首には意味があることを知りましょう。

点

漢字の形と音・意味

1 おぼえましょう

◇ 同じ部分で同じ音をもつ漢字や、同じ部分の意味をおぼえましょう。

1 同じ部分で同じ音

青

年

青

セイ

〈同じ部分〉 〈同じ音〉

晴

天

青

セイ

清

書

青

セイ

精

米

青

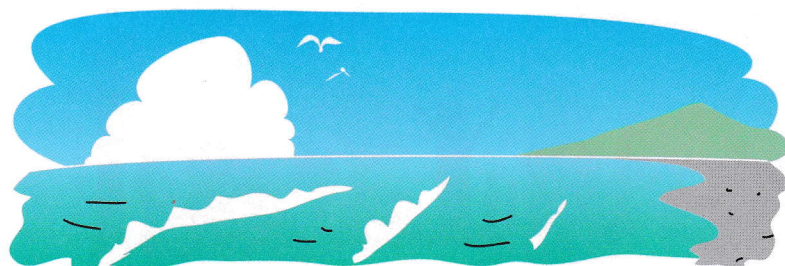
セイ

静

止

青

セイ



2 練習しましょう

1 次の漢字と、同じ部分で同じ音の漢字を、
に書き、()に音をひらがなで書きましょう。

から選んで

① 花

② 帳

③ 績

④ 則

積・買・測・秋・張・貨

2 □に合う漢字を、 から選んで書きましょう。

1つ5点(10)

径 軽 経

① 定規で円の直 をはかる。

② レストランを 営する。

2 同じ部分と意味

シ

〈部首〉

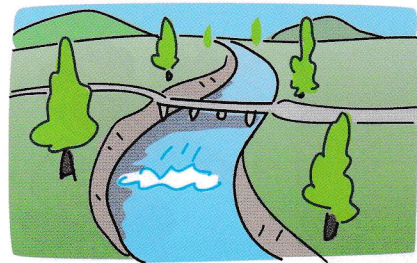
〈部首名〉

〈意味〉

(さんずい) ……もとは「水」で、川や液体など水に関係のある漢字に使われる。

深	泣	泳
浴	洋	河
減	池	流

など



イ

(ぎようにんべん) ……「行く」「道」などの意味を表す漢字に使われる。

待	徒
後	往
得	復

など



※共通する部首をもつ漢字は、意味のうえでつながりがある場合があります。

3 同じ部分をもつ漢字の欠けている部分を、 から選んで、 にそれぞれ書きましょう。

□にそれぞれ書きましょう。

一 つ 5 点 (30)

① 理科の実 **験** をする。 — 危 **険** な道をさける。

② 先生の **講** 演をきく。 — 機械の **構** 造を調べる。

③ **復** 雑な形。 — 天候が回 **復** する。

イ	オ
シ	ネ
馬	言
木	



4 次の部首の表す意味を下から選んで、 でつながりましょう。

一 つ 5 点 (20)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ④ | ③ | ② | ① |
| シ | イ | ト | ネ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
- ・ 水に関係する意味。
 - ・ 体に関係する意味。
 - ・ 衣類に関係する意味。
 - ・ 心のはたらきに関係する意味。
 - ・ 「行く」「道」などの意味。

4

笑うから楽しい
2 時計の時間と心の時間／主張と事例

めあて

○言葉の係り方・受け方を正しく表した文が書けるようになり
ましょう。

点

言葉の係り方・受け方

1 おぼえましょう

◇ 言葉には、きまった係り方・受け方をする
表現があります。

○仮定の表現

・ **どんな**に**おいしい**おかしでも、
食べすぎてはいけない。

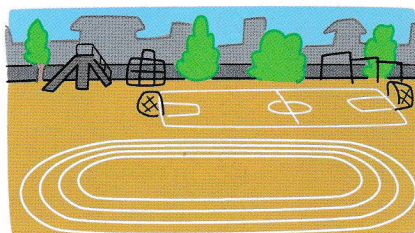
・ **たとえ**遠くても、
行ってみるつもりだ。

○おしはかる表現

・ 運動場には、**おそろく**
だれもいない**だろう**。

・ 遠足は、**たぶん**予定ど
おり行われる**だろう**。

・ 明日は**きっと**
晴れる**だろう**。



2 練習しましょう

1 ——— の言葉の係り方・受け方が正しい文四つに、○をつけま
しょう。

一つ10点(40)

() 姉は、国内の観光地はもちろん、海外へも何度も出
かけるくらい、旅行が好きだ。

() 世界の人々が平和を願う心をもち続けることこそ、
大切なことだ。

() こんなによい天気なのだから、まさか雨が降ること
はあるだろう。

() 時間をかけて議論したけれど、少しも意見がまとま
らない。

() どんなに難しい問題なら、時間をかけてじっくり考
えれば解けるものだ。

() あたたかい地方に住む人たちは、めったに雪遊びを
する機会がない。

() たとえ失敗したら、あきらめない。

○打ち消す表現

・山田さんは、**めったに**練習を休ま**ない**。

・今月に入って、**少しも**雨がふら**ない**。

・ラケットは、一本しか持**っていない**。

・**まさか**、場所をまちがえることは**ない**だろう。

※「まさか」を使った打ち消す表現は、ふつう、おしはかる言葉とともに用いられます。

○強める表現

・力を合わせて戦うこと**こそ**、勝利への近道**だ**。

・遊園地は、子供は**もちろん**、大人**も**楽しめる場所**だ**。

※「〜はもちろん、……さえ」の形になることもあります。



2 文に合うほうの言葉を、☐で囲みましょう。

一つ10点(30)

① 母は、
 { 少しも }
 { たぶん }
 買い物に出かけたのだろう。

② 田中さんは、
 { めったに }
 { どんなに }
 わすれ物をしない。

③ 材料はたくさんあるから、
 { たとえ }
 { まさか }
 足りなくなることはないだろう。

3 <>の表現になるように、☐に合う言葉を、☐から選んで書きましょう。

一つ10点(30)

① <仮定の表現> ()
 苦しいときでも、あきら

めないでがんばろう。

② <打ち消す表現> 弟はとても早起きで、

ねぼうはしない。

③ <強める表現> 適度な運動 ()、じょうぶな

体をつくるための基本だ。

めったに ・ やつと ・ どんなに ・こそ

5

話し言葉と書き言葉

めあて

○話し言葉と書き言葉の特徴をそれぞれ理解して、相手や場面に応じた表現を選ぶようになりましょう。

点

話し言葉と書き言葉

1 おぼえましょう

◇言葉で相手に伝える方法には、音声と文字の二つがあります。音声で表す言葉を話し言葉、文字で表す言葉を書き言葉といいます。

1 話し言葉

声の大きさや上げ下げ、間の取り方などで気持ちを表し、言いまちがいをすぐに直すことができて、こそあど言葉で表すこともできます。

じゃあ、種をまくから、
浅い穴をつくるよ、
ここに。指で。



※言葉がはさまれたり、語順が整わなかったりするのも話し言葉の特徴です。また、方言を使った表現もできます。

2 練習しましょう

1 次の文が、話し言葉についての文には○を、書き言葉についての文には△を、()にかきましよう。

一つ10点(60)

① () 声の大きさや上げ下げ、間の取り方などで気持ちを伝えることができる。

② () 言葉で相手に伝える方法として、文字で表す。

③ () だれが読んでも分かるように、共通語を使い、語順や構成を整える。

④ () 言いまちがいをすぐに直すことができて、こそあど言葉で表すこともできる。

⑤ () ふだんは方言やくだけた言い方を使う相手でも、改まった場面では表現を変える。

⑥ () 誤解をあたえないように、内容を整理し、よく見直す。

2 書き言葉

音声とちがつて、文字は残すことができます。書き言葉はだれが読んでも分かるように共通語が使われていて、語順や構成を整えて書いてあります。

〈種をまく準備〉

土の表面に、指で浅い穴をつくる。

※ 相手に誤解をあたえないように、主語を明らかにしたり、誤字がないようにしたりするなどの注意や、内容を整理して書き、見直すことが大切です。

3 相手や場面による表現のちがい

相手や伝える場面によって、表現は変わります。

・ じょうろで水をやる。

・ じょうろで水をやりま

※ 敬語または方言などを使うか、漢語・和語・外来語にするかなど、相手や場面によって考える必要があります。それぞれの特徴を考え、適切な表現を選びます。



2 改まった気持ちを表す話し言葉になるほうに、○をつけましょう。

しよう。

一つ10点(20)

①

（それでは、これから話し合いをしましょう。）
（それじゃあ、これから話し合いをしよう。）

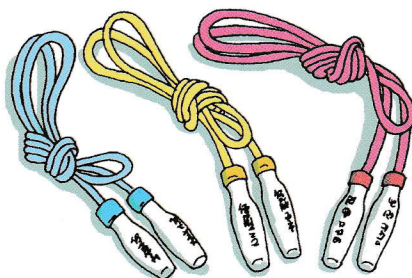
②

（今日は寒いけど、部屋の中はあたたかいね。）
（今日は寒いけれど、部屋の中はあたたかいです。）

3 次の文章を、クラスみんなに伝える言い方にして書きましょう。

(20)

来週、なわとび大会を行う。
参加する人は、申しこみ用紙を取りに来てほしい。



6

「ものの考え方、伝え方」から「話し言葉と書き言葉」までの
たしかめよう ①

めあて

○「様子や行動を表す言葉」「漢字の形と音・意味」「言葉の係り方・受け方」「話し言葉と書き言葉」の内容を、正しくおぼえたか確かめよう。

点

光(6上) 12

1 文に合うほうの言葉に、○をつけましょう。

1つ5点(20)

① 今朝は

とても 早くに
目が覚めた。

② あわてて

ばたばたと しっかりと
走り回る。

③ 青い空に白い雲が

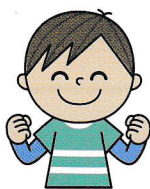
ざわざわと ゆったりと

流れている。

④ あの店は、夕方になると

たいてい いきなり
閉まっている。

「早く」と「早くに」、「ばたばた」と「ばたばたと」のように、「に」「や」とがつく言葉があるけど、どちらも同じ意味だよ。



2 □に合う漢字を、□から選んで書きましょう。

1つ5点(10)

複 腹 復

① □ 雑なまよう。

② 景気が回 □ する。

「腹」はおなかを表す漢字で、「腹部」や「空腹」などの形で使うね。



3 □に合う漢字の欠けている部分を□から選んで、□にそれぞれ書きましょう。

1つ5点(15)

① 午後は、水 永 の授業だ。

② 忘れられない経 灸 をする。

③ 駅までは、走 歩で向かう。

シ・オ・イ・馬・金・糸・β

4 文に合うほうの言葉を、☐で囲みましょう。

一つ5点(15)

- ① これだけ努力をすれば、
 成功する
 きっと
 もしも
- だろう。

- ② 使えるお金は、二百円
 しかない。
 なら

- ③ めったに
 たどえ
 雨が降っても、試合は行う。

5 ☐の表現になるように、☐に合う言葉を、☐から選んで書きましょう。

一つ5点(15)

- ① ☐打ち消す表現 ☐難しそうな本だと思ったが、
 難しくはなかった。

- ② ☐強める表現 ☐すっかりきん張して、話すことは

- ③ ☐おしはかる表現 ☐台風が去ったので、明日は
 晴れるだろう。

少しも・どんなに・もちろん・きっと

6 改まった気持ちを表す文になるほうに、○をつけましょう。

一つ5点(15)

- ① ☐料理をするので、少し手伝ってください。
☐料理をするから、ちよつと手伝って。

- ② ☐犬にえさをやるのを忘れないように。
☐犬にえさをやるのを忘れてはいけません。

- ③ ☐とても上手なピアノの演奏だった。
☐とても上手なピアノの演奏でした。

ふだん友達と話すような言葉と、文章に書くような言葉のちがいを考えてみよう。



7 ☐の内容を書いた紙をけい示板にはってクラスのみ

んなに知らせます。ていねいな書き言葉にして書きましよう。

(10)

昼休み、リレーの練習をするから、選手は運動場に集まって。

7

たのしみは

めあて

- 短歌や俳句の由来や形式をおぼえましょう。
○「たのしみは……時」で結ぶ短歌を作ってみましょう。

点

短歌と俳句

1 おぼえましょう

◇ 短歌と俳句は、どちらも五音と七音おんの組み合わせによってできる短い詩です。

1 短歌

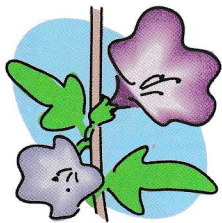
短歌は五・七・五・七・七の三十一音から成ります。千年以上も前から、多くの人に愛され、作られてきました。

たのしみは 朝おきいでて 昨日まで

無かりし花の 咲ける見る時

橘 曙覧

※この歌は、朝起きて、昨日までは咲いていなかった花が、咲いたときのうれしいおどろきと、日々の中での季節の变化をよんだ歌です。



2 練習しましょう

1 例のように、——の部分の音の数を、（ ）に書きましょう。

例 菜の花や月は東に日は西に 与謝蕪村 (五音)

① みちのくの母のいのちを一目見ん

一目みんとぞただにいそげる

斎藤 茂吉

② 街をゆき子供の傍を通る時

蜜柑の香せり冬がまた来る

木下 利玄

③ 秋来ぬと目にはさやかに見えねども

風のおとにぞおどろかれぬる

藤原 敏行

④ 五月雨を集めて早し最上川

松尾 芭蕉

2 俳句

俳句は、五・七・五の十七音から成ります。
短歌を祖とする俳句は、江戸時代、松尾芭蕉
によって芸術として高められました。
俳句には、ふつう、「季語」という季節を表
す言葉が盛りこまれます。

菜の花五音 月七音は東に 日五音は西に
与謝よさ 蕪村ぶそん

季語……菜の花

季節……春



現代や近い時代の作品を読んでみましょう。

みちのくの母のいのちをひとあ一目見ん
(東北地方)

一目みんとぞただにいそげる

斎藤さいとう 茂吉もきち

赤蜻蛉とんぼつくば筑波に雲もなかりけり
(山の名前)

正岡まさおか 子規しき

※短歌や俳句を声に出して読み、文語（書き言葉で、昔の形が残っているもの）の調子に慣れましょう。

2 次の俳句の季語を、㊦㊧㊨から選んで、□に記号を書きましよう。また、表す季節を、「春・夏・秋・冬」の中から選んで、（ ）に書きましよう。

① 赤蜻蛉 筑波に 雲もなかりけり
季語……□ 季節……()

② 流れ行く 大根の葉の 早さかな
季語……□ 季節……()

③ 閑さや 岩にしみ入る 蟬せみの声
季語……□ 季節……()

④ 雪とけて 村一ぱいの 子どもかな
季語……□ 季節……()

⑤ 雪とけて 村一ぱいの 子どもかな
季語……□ 季節……()

3 楽しくなるときや、わくわくするときなどを思い出しながら、「たのしみは」で始まり、「時」で結ぶ短歌を作りましよう。

(五・七・五・七・七の三十一音から成ります。)

たのしみは

時

8

文の組み立て

めあて

- 主語・述語を正しく見つけられるようになりましょう。
○文の中の主語と述語の関係を理解しましょう。

点

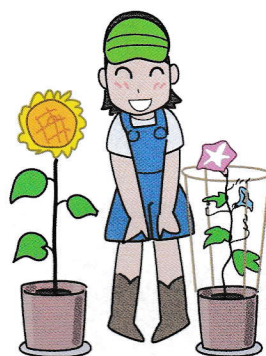
主語と述語の関係

1 おぼえましょう

◇ 文には、「だれ(何)が」「だれ(何)は」を表す主語、「どうする」「どんなだ」「なんだ」を表す述語がふくまれています。

1 一つの文に、一組の主語と述語がある場合

主語 アサガオは、
述語 きれいだ。
主語 ヒマワリは、
述語 きれいだ。



2 一つの文に、二組以上の主語と述語がある場合 ①

主語 アサガオは、
述語 きれいだし、
主語 ヒマワリも、
述語 きれいだ。

2 練習しましょう

1 次の文の主語に――を、述語に――を引きましょう。

一つ10点(30)

- ① まぶしい夏の太陽が、じりじりと照りつける。
- ② 私たちのグループは、調べたことを報告する。
- ③ この池では、あまり魚がつかれない。

2 次の二つの文を一つの文にして、()に書きましょう。

一つ10点(20)

- ① 森は静かだ。湖はおだやかだ。

- ② ぼくは本を読んだ。ぼくは感想文を書いた。

※右の文は、「アサガオは、きれいだ。」「ヒマワリも、きれいだ。」と、単純に二つの文に分解できます。
また、「……ヒマワリも、きれいだし、アジサイも、きれいだし、……」とつなげれば、何組もの主語と述語の関係が成り立ちます。

3 一つの文に、

二組以上の主語と述語がある場合 ②

〈修飾する主語と述語〉
主語 述語
私が 育てた

アサガオは、きれいだ。

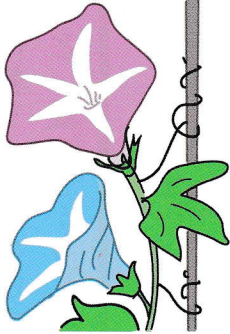
〈文の中心になる主語と述語〉

※右の文は、2の文とはちがって、「アサガオは、きれいだ」が文の中心です。「私が、育てた」という一組の主語と述語は、「アサガオは」を修飾しています。

4 3の文は、次のように書きなおすことで、二つの文に分解することができます。

私が、アサガオを育てた。

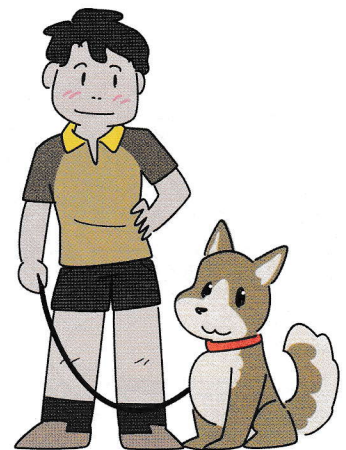
そのアサガオは、きれいだ。



3 次の文の中心になる部分の主語に、――を引きましよう。

① 私が飼っている犬は、とてもおすわりが上手だ。

② 友達が落としたさいふが、交番にとどけられている。



4 次の文を4のように二つの文に分解して、（ ）に書きましよう。
一つ15点(30)

① ぼくが小さいころにかいた絵が、部屋のかべにかざられている。

② 先生が教えてくれた歴史の資料が、図書館で見つかった。

9

天地の文／情報と情報をつなげて伝えるとき
私たちにできること／夏のさかり

めあて

- 文語の仮名づかいと現代の仮名づかいのちがいを理解しよう。
- 文語で書かれた簡単な文や文章を読めるようになろう。

点

文語の仮名づかい

1 おぼえましょう

◇ 文語（書き言葉で、昔の形が残っているもの）の仮名づかいは、現在使われている言葉の仮名づかいと、ちがうところがあります。

◇ 比べて読みましょう。

文語

白鳥はかなしからずや

空の青海のあをにも

染まらずただよふ

若山 牧水

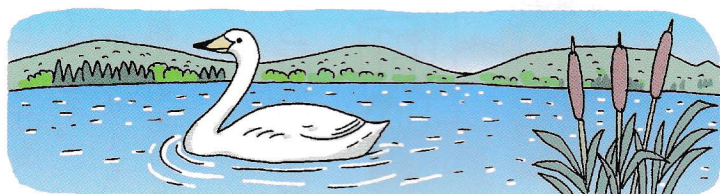
現代の言い方

白鳥はかなしくはないのか。

空の青、海の青にも

染まらないでただよう

（ただ一羽の鳥よ）。



2 練習しましょう

1 文語の仮名づかいで書かれているほうに、○をつけましょう。

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ⑥ 折り紙 | ⑤ 水鳥 | ④ かき氷 | ③ 川上 | ② タ立 | ① 青田 |
| () () | () () | () () | () () | () () | () () |
| () () | () () | () () | () () | () () | () () |
| をりがみ | みづとり | かきごほり | かはかみ | ゆうだち | あをた |
| おりがみ | みづとり | かきごおり | かわかみ | ゆうだち | あおた |



一 (30)

● 文語で書かれた短歌や俳句

ひさかたの光のどけき春の日に
しづ心なく花の散るらむ

紀友則

○ 短歌の意味

日の光がおだやかであたたかい春の一日だといふのに、心を落ち着かせることもなく、桜の花はどうして散っていくのだろうか。

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

正岡子規

○ 俳句の意味

柿をほおばっていたら、法隆寺の鐘が、腹の底にひびくような音をさせて鳴ったよ。

● 文語の仮名づかい

あを(お)青 こほり(お)氷 ざうり
をる(お)折る いふ(う)言う 出づる

※ 声に出して、文語の仮名づかいや文語の調子になれましょう。

2 — の文語の仮名づかいを、現代の仮名づかに直して、()に書きましよう。

① 願ふ

② つりぎを

③ にはとり

④ しづかな海

⑤ ちひさき鳥

3 次の短歌や俳句の中で、文語の仮名づかいで書かれているものを二つ探して、○をつけましよう。

石走る垂水の上のさわらびの
萌え出づる春になりにつけるかも

志貴皇子

みちのくの母のいのちを一目見ん
一目みんとぞただにいそげる

斎藤茂吉

五月雨を集めて早し最上川

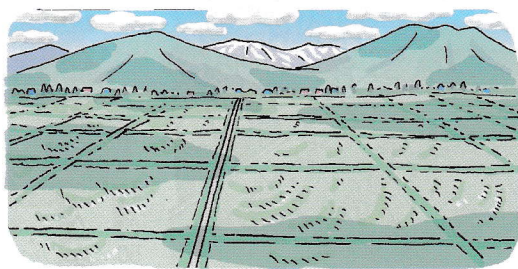
松尾芭蕉

菜の花や月は東に日は西に

与謝蕪村

涼風やあを田の上の雲のかげ

森川許六



*「石走る…さわらび」
岩の上を激しく流れ落ちるたきのほとり、若いわらび。

10

私と本／森へ

めあて

○事実を述べた文と考えや気持ちを述べた文のちがいをおぼえましょう。
○文章を書くときに、これらの文を使うようになりましょう。

点

事実を述べた文・考えや気持ちを述べた文

1 おぼえましょう

◇ 事実を述べた文と考えや気持ちを述べた文のちがいをおぼえましょう。

1 事実を述べた文

この森は自然の
宝庫だ。 断定

さまざまな生き物の
いる森である。 断定

野うさぎが
はねている。 動作の続き

野うさぎをおそう
ものはいない。 打ち消し

美しい鳥の鳴き声
を聞いた。 過去



2 練習しましょう

1 事実を述べた文には○を、考えや気持ちを述べた文には△を、

() にかきましょう。

① () ぼくは、大きくなったら、
宇宙飛行士になりたい。

② () 空がくもってきたから、
夜には雨が降るだろう。

③ () 試合が始まって、たくさん
の人が、おうえんの言葉をさけ
んでいる。

④ () この本をかった人は、人と人との出会いは、きせき
なのだということを言いたかったのかもしれない。

⑤ () 今日は、アメリカ人のスミス先生から、英語のあ
いさつと歌を教わった。



110点(50)

2 考えや気持ちを述べた文

森には、どんな動物がいるのか。

疑問

動物の様子を知りたい。

希望

春になれば、きれいな花がさくだろう。

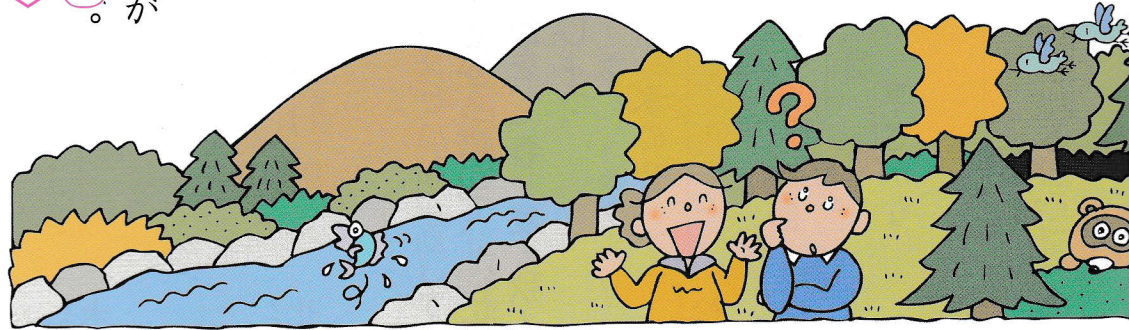
おしはかる言い方

谷川でたくさん魚がつかれるかもしれない。

おしはかる言い方

※「花は、いつさくのだろう。」は、疑問の言い方です。

※「花は、いつさくのだろうか。」も、疑問の言い方です。



2 「～」の言い方になるように、 から言葉を選んで、（ ）に書きましょう。

一つ10点(50)

① 「打ち消す言い方」

本の内容を、まだ知ら

② 「おしはかる言い方」

これは、すばらしい作品になる

③ 「断定する言い方」

私の父は、医者

④ 「過去を表す言い方」

昨日、夕食に魚料理を食べ

⑤ 「ひく」動作が続くことを表す言い方

姉は、一時間前からずっと

ピアノをひいて

いる・ない・だ・だろう・た・たい



11

「たのしみは」から「森へ」までの
たしかめよう ②

めあて

○「短歌と俳句」「主語と述語の関係」「文語の仮名づかい」「事実を述べた文・考えや気持ちを述べた文」の内容を、正しくおぼえたか確かめましょう。

点

1 次の短歌や俳句の 〆の部分の音の数を、() に漢数字で書きましよう。

一つ5点(10)

- ① 妹の小さき歩みいそがせて
千代紙買いに行く月夜かな

きのした
木下 利玄

音

- ② 石崖に子ども七人こしかけて
河豚を釣り居り夕焼け小焼け

きたはら はくしゅう
北原 白秋

音

2 次の俳句の季語を、ア～ウから選んで、□に記号を書きましよう。また、表す季節を、「春・夏・秋・冬」の中から選んで、()に書きましよう。

一つ5点(20)

- ① 楽しさや 青田に涼む 水の音

まつお ばしょう
松尾 芭蕉

季語…… □ 季節…… ()

- ② 流れ行く 大根の葉の 早さかな

たかはま きよし
高浜 虚子

季語…… □ 季節…… ()

3 次の文の主語に――を、述語に――を引きましよう。

一つ5点(15)

- ① 私は学校のプールで、クロールを練習した。
② たかし君のお父さんは、有名な書道の先生だ。
③ ぼくは音楽の教科書にのっている歌を歌った。

4 例のように、次の文を二つの文に分解して、()に書きましよう。

一つ5点(10)

例 母が作った料理を、ぼくが食べた。

() 母が料理を作った。

() その料理をぼくが食べた。

- ① 川上さんがとった写真を、みんながほめた。

- ② 兄が作った本だなに、私は本を並べた。

5 文語の仮名づかいで書かれているほうに、○をつけましょう。
一つ5点(10)

① 今日 () ()
() きよう () けふ

② 永久 () ()
() えいきう () えいきゅう

昔の仮名づかいは、「私ワ学校へ行きます。」と発音するのに、「私は学校へ行きます。」と書くように、今でも少しだけ残っているよ。



6 —の言葉の中で、文語の仮名づかいになっているものを一つ見つけて、現代の仮名づかいに直して () に書きましょう。
一つ5点(10)

① いのちなき砂のかなしさよ

握れば指のあひだより落つ
にぎ さくらさくらと

石川 啄木
いしかわ たくぼく

② 学校にも読める声のなつかしさ
身にしみとほる山里過ぎて

若山 牧水
わかやま ぼくすい

②は、旅をしている作者が、山里の小学校から聞こえる朗読の声になつかしさを感じた、という短歌だよ。



7 事実を述べた文二つに、○をつけましょう。一つ5点(10)

() 昨日の野球の試合は、兄のいるチームが勝ったそうだ。

() その学者は、「次こそは新しい発見をしたい。」と述べた。

() こわれてしまった時計の針が、十時をさしている。

() 約束の時間は過ぎてしまったけれど、いつになつたら友達は来るのだろう。

() その意見には、九十パーセント以上の人が、賛成するかもしれない。

8 () () の言い方になるように、 から言葉を選んで、() に書きましょう。
一つ5点(15)

① 〈断定する言い方〉

あの星は火星

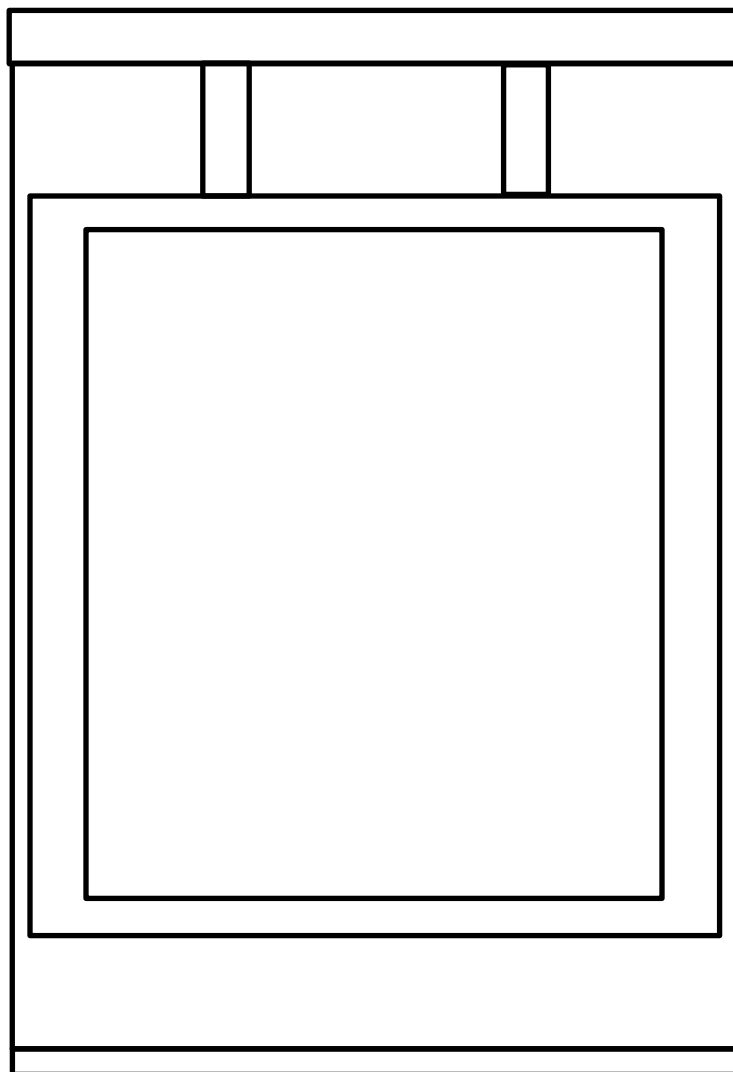
② 〈打ち消す言い方〉

私は、会議に参加し

③ 〈動作が続くことを表す言い方〉

空にツバメが飛んで

たい・かもしれない・いる・である・た・ない



8^{がつ}月

日(にち)	月(げつ)	火(か)	水(すい)	木(もく)	金(きん)	土(ど)

★夏休みの絵日記

上には、絵をかいて、色をぬりましょう。

月

日

曜日

榛組 名前

まんが日本史200字要約

名前

まんが日本史 第13話「平将門の乱～立ち上がる地方の豪族～」

まんが日本史 第14話「花ひらく王朝文化～清少納言と紫式部～」

[illegible]

★夏休みに読んだ本のしょうかい

名前

本の題名

作者

感想・おすすめの理由

★表紙や印象に残った場面の絵をかいて色をぬりましょう。

[illegible]